

プリンストン大学生との交流セッション募集要項

2025.5

【注意事項】

募集に関する情報・応募書類等是一部変更される場合があり、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合もある。よって、最新情報を必ず次のウェブサイトで確認すること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-oncampus-princeton.html>

1. 概要

このセッションはプリンストン大学の学生と交流し、相互理解と親睦を深めることを目的とする。内容は以下を予定している：

- (1) キャンパスツアーとウェルカムパーティー
- (2) 交流イベント
- (3) 和楽器 箏の演奏会
- (4) フェアウェルパーティ

※全日程を本郷キャンパスで実施する。

プリンストン大学の学生とさまざまな話をして、お互いの理解を深めることで「世界の多様な人々と共に生き、共に働く力」である国際総合力を向上させることが狙い。また、希望者は、本学においてプリンストン大学が実施している同大学の学生向け授業（英語）を聴講することもできる。

2. セッション実施日（全4日間）

以下のすべての日程への参加が必要。

- ・6月9日(月) 16時～17時： キャンパスツアー
- ・6月9日(月) 17時～19時： ウェルカムパーティー
- ・7月1日(火) 15時30分～17時：和楽器 箏の演奏会
- ・7月17日(木)18時～20時： フェアウェルパーティ
- ・(調整中) 6月17日(火)、26日(木)、7月7日(月)のいずれか： 交流イベント

(参考) プリンストン大学の講義期間（参加任意）：2025年6月9日(月)～7月16日(水)

※詳細は別添1のスケジュールを確認すること。

3. 募集人数

学部学生 12名程度

* [国際総合力認定制度 Go Global Gateway \(GGG\)](#) のオンデマンド講座の受講（動画視聴と確認テストの提出）を完了していること。受講の所要時間の目安は約100分。

4. 費用

本セッション参加にかかる費用の個人負担はなし。

5. 単位等

プリンストン大学による講義を聴講した場合においても単位は付与されない。

6. 募集からセッション終了後までのスケジュール（予定）

5月19日(月)17時	・オンデマンド講座の受講（動画視聴と確認テストの提出）の完了 ・応募締切
5月下旬	学内選考・結果通知
6月9日(月)～7月17日(木) の指定された日	セッションの実施
7月下旬	事後アンケート提出締切

※本セッションは東京大学本郷キャンパスで実施する。

7. 応募資格・要件

以下の要件をすべて満たすこと。

- (1) [国際総合力認定制度 Go Global Gateway \(GGG\)](#) のオンデマンド基礎講座の受講（動画の視聴と確認テストへの回答）を完了していること。
- (2) 中級以上の英語能力（Common European Framework of Reference for Languages (CEFR※)の B1～B2 レベル）を持っていること。
※文部科学省（各資格・検定試験と CEFR との対照表）：
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/koutou/091/gijiroku/_icsFiles/afieldfile/2018/07/27/1407616_003.pdf
- (3) 応募時及びセッション参加期間を通じて、本学の学部正規課程に在学していること（セッション期間中に休学中の者や卒業等により本学学籍を失う者は参加できない）。
- (4) 本セッションに参加するにあたり、本学の授業履修に関して特別な配慮はないことを理解し、本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を応募前に十分確認し、指定された全日程への参加が可能な場合のみ応募すること。なお、本学からの参加可能人数には上限があり、選考後に辞退すると他の学生の機会を失うことにつながるため、応募後の辞退は原則として認められない。
- (5) 所属学部において、本セッションへの参加により授業又は試験に出席できない場合でも特別な配慮は取られず「欠席」扱いとなること、また、欠席による追試験の申請理由にもならないことを理解すること。詳細は所属学部を確認すること。聴講を希望するプリンストン大学の講義と自身が履修する本学の授業が同時帯に実施される場合は、必ず本学で履修する授業に出席すること。
- (6) 本セッション参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本セッションに応募することを事前に報告し、了承を得た上で応募すること。

(7)異文化体験や交流に興味を持っており、海外大学の授業の聴講、英語学習などへの意欲があること。

8. 応募方法・応募書類

・応募は以下のリンク先のフォームから申し込みを行う。

<https://forms.gle/HmbAGTtclW7hlogG8>

(ECCS クラウドメールへのログインが必要)

9. 応募締切

2025年5月19日(月) 17時

10. 学内選考

(1)応募者多数の場合は書類選考を行う。

(2)採択結果は5月下旬に、応募フォームに登録した電子メールアドレスへ通知する。

(3)採択結果等についての連絡は電子メールで行うため、応募後は応募フォームに登録した電子メールアドレスを定期的を確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、注意すること。

11. 学内選考通過～セッション参加の際の留意事項

(1)セッションへの参加が決定した場合、指導教員等の関係者には事前に連絡して伝えておくこと。

(2)参加必須の交流イベント全てに必ず参加すること。

(3)万が一、やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、採否結果の受領前であっても遅滞なく、本部国際教育推進課国際支援チーム (go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) に連絡すること。

(4)セッション中に動画や写真の撮影があること、将来それらがグローバル教育センターにおける広報素材として、また本学における教育素材として使用される可能性があることを予め了承すること。

12. 参加後の報告等

(1)参加学生は、7月下旬に事後アンケートを提出すること

(2) 応募フォームに記入した住所や電話番号・電子メールアドレスに変更があった場合は、本部国際教育推進課国際支援チーム (go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) へ連絡すること。プログラム終了後も必要事項の連絡の際に必要なため、留意すること。

(3) 参加学生には、セッション参加後、本学の国際化に関する業務への協力(学生へのアドバイス、アンケート調査等)を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

13. 問い合わせ先

※電子メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・学籍番号・所属・学年・電話番号を明記すること。

本部国際教育推進課国際支援チーム (go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)

(参考) プリンストン大学の講義シラバス (抜粋)

※詳細はセッション参加者にあらかじめ案内予定

別添 I

Contemporary Japan

Main Instructors:

Japan: James Raymo

Seminar Description:

“An important step towards understanding any country is to spend time there.”

This seminar, taught at University of Tokyo offers an opportunity to understand contemporary Japanese society through lectures, readings, discussions, and field trips in both urban and rural Japan. In the six weeks, we will cover six important topics in six modules. For each module, we will have a combination of a lecture, a guest lecture, readings, student presentations, and class discussions.

An underlying philosophy for this seminar is that understanding contemporary Japanese society should require one to take into account historical, cultural, political and economic context. We expect all students to be open-minded and enjoy an intellectual, as well as a physical, investment in understanding contemporary Japan.

Seminar Structure:

Classroom Seminar: lectures, guest lectures, student presentations, and in-class discussions.

9:30 a.m.-11:30 a.m., Monday-Wednesday (Tuesday-Thursday, Week 3)

Week 1 (June 9 - June 15)

Overview of contemporary Japan: post-WWII history, pressing social and economic policy issues

Guest Speaker: Jeff Kingston, Temple University (June 11)

Week 2 (June 16 - June 22)

Demography in Japan and East Asia: low fertility and aging, marriage and family, theoretical frameworks, geographic mobility/rural depopulation)

Week 3 (June 23 - June 29)

Education and Employment: Japanese educational system, trends in higher education, inequality, school to work transition, Japanese employment system, non-standard employment

Guest speaker: Prof. Takashi Yamamoto (Takushoku University, Princeton alum), *The Japanese Economy* (June 25)

Week 4 (June 30 - July 6)

Inequality: gender inequality, minorities in Japan, immigrants and assimilation

Guest Speaker: Kikuko Nagayoshi (University of Tokyo), *Immigrants and their integration in Japan* (July 1)

Week 5 (July 7 - July 13)

Politics and international relations: Japan's political system, high-profile political issues, Japan-US alliance, Japan in East Asia

Guest speaker: Prof. Phillip Lipsky (University of Toronto), *Japanese Politics* (July 7 or 8 - TBD)

Week 6 (July 14 - July 18)

Various topics and synthesis: Law, crime, media, pop culture, overview

Guest speakers: Prof. Takuma Kamada (Osaka University), *Organized Crime in Japan* (July 14)

Sarah Strugnell (Princeton University), Title TBD (July 15)